

前回協議会(R2.8.6)における意見概要と対応状況

意 見 概 要	対 応 状 況
<p>《①陣跡周遊ツールの魅力向上と情報発信について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 陣跡周遊ツールが、名護屋城跡を中心としたマイクロツーリズムとして広く認知、活用されるため、ストーリー性のあるものとして作成してほしい。 また、ツイッターなどを活用し、積極的に情報発信してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「はじまりの名護屋城。」プロジェクトの一環として、名護屋城跡・博物館を起点とし、周囲の陣跡周遊を促進するため、令和2年度に第一弾としてサイクルルート及び徒歩ルートを設定した。令和3年度は、周遊ルート整備の実施計画策定を、令和4年度は、ルート整備を行う予定としている。周遊ルートは、観光資源を巻き込んだ魅力あるものとなるよう、地域団体の協力を得ながら整備したい。 また、SNSなどを活用した情報発信の導入については今後とも検討を進めていきたい。
<p>《②陣跡周遊のサイン整備について》</p> <ul style="list-style-type: none"> どの武将の陣跡か、また、所要時間などアクセス情報をわかりやすく伝達できるサイン整備を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「はじまりの名護屋城。」プロジェクトの一環として、陣跡周遊を促すための新たなサイン等の設置計画を令和3年度に策定し、令和4年から令和5年にかけてサイン整備を行う予定である。
<p>《③県内小中学生の博物館利用促進について》</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの県内小中学生が、名護屋城博物館に対する興味を持ち、利用に結びつくような企画など工夫してほしい。 子供達による花壇づくりなど地元の協力があってもよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 当館では、歴史への理解を深め、また、日韓の地域間交流の促進を図るため、これまで学校の要望に応じ、近隣の小中学校の授業へ学芸員を派遣する「出前講座」に取り組み、特に、今年度から新たに地元中学校に対し5回シリーズで実施することになった。また、昨年度は、県教育委員会を通じ、県内小中学校に、当館の年間スケジュールを配布し、修学旅行での当館の活用を促し、これまで以上の入館もあった。引き続き利用促進を図るとともに、近隣の小中学校と連携をとりながら、様々な活用方法を検討したい。
<p>《④検定制度の導入について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 名護屋城跡及び陣跡への関心が高めるため、武将や城郭史などを素材とした、子供向け又は大人向けの検定を導入してみてもどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 検定制度の導入については今後とも検討を進めていきたい。
<p>《⑤木下延俊陣跡再整備後の企画展の開催について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 再整備後の陣跡への関心が高まるよう、陣跡の名護屋城博物館等での位置付けや、木下家や豊臣家の歴史にも触れるなどの企画展を開催してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「はじまりの名護屋城。」プロジェクトの陣跡周遊の起点として、また、当時の諸大名の典型的な様子を体感できる場としてリニューアルすることとしており、ストーリー仕立ての解説映像などガイダンス機能の充実を図ることとしている。整備後の企画展については、実施に向け今後検討したい。